

新たな地域コミュニティ支援事業にかかる受託者等の評価結果について（令和元年度期末）

1 支援の内容及び効果等（1）

評価項目

「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）」

- (1) 「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
- (2) 「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
- (3) 「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
- (4) 「Ⅳ 区独自取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等

評価	左記の理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域活動協議会（以下、「地活協」という。）会長へのインタビューや地域活動従事者へのヒアリングを通じ、各地域における「ヒト・モノ・コトなどの資源」や「課題」などについて、定性的に把握することで、地域活動フォトムービーの作成や、地域での行事カレンダーの作成支援、地域公共人材の派遣に繋げることができた。 ・ 東淀川みらいEXPOや週末サロン”ひと×まち” コーデを定期的で開催し、参加者同士がお互いの活動スペースでイベントを開催するなど、地域を越えた連携に繋げることができた。 ・ 地活協の広報力向上のために広報講座を開催し、イベント等の活動の発信に力を入れる地域が増えてきた。今後は、組織運営面での発信の強化について、地域のニーズに合わせた支援を行ってほしい。

2 支援の内容及び効果等（2）

評価項目

- (1) 自由提案による地域支援の支援状況（実績）及び効果等
- (2-1) スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制にかかる支援状況（実績）及び効果等
- (2-2) フォロー（バックアップ）体制等にかかる支援状況（実績）及び効果等
- (3) 区のマネジメントに対応した取組にかかる支援状況（実績）及び効果等

評価	左記の理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成27年度から嘱託職員として3名の地域づくりアドバイザーを直接雇用し、各地活協の成熟度やニーズに見合った柔軟な支援を行ってきた。地域づくりアドバイザーにはまちづくりに関するスキルを活かした役割を、地域課職員には地活協の適正な運営と補助金の適正執行に関する役割を、地域担当職員には担当課を横断して区役所の連携を活かした役割を担い、区役所職員が地域に身近な存在として支援体制を敷いている。 ・ 今後もそれぞれの役割をブラッシュアップしていき、支援内容の充実に努めていきたいが、地域担当職員と地域との関わりに

	濃淡があることや、踏み込んだ支援には至っていないことが課題であったため、平成30年5月より防災を基軸とし、避難所開設や運営がスムーズに行えるように焦点を絞った地域支援を行っている。
--	--

3 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）の状況及び効果等（5つ以内）

評価項目

区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）にかかる支援の状況及び効果等

評価	左記の理由
B	<ul style="list-style-type: none"> 重点施策として地域づくりアドバイザーが中心となって取り組んでいる地域カルテ、東淀川みらいE X P O、地活協の広報力向上はいずれも非常に重要な取り組みであり、それぞれの取組により、少しずつではあるが活動に広がりが見られるようになった。 多くの地活協では、地活協を構成する団体以外との連携が進んでおらず、企業等連携を進めることについて、情報発信と場づくりが、繋がり拡大のために必要な支援であり、引き続きの取組をお願いしたい。

4 取組効果の評価（アウトカムに対する評価）

評価項目

(1) アンケート調査

(2) 自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）

(2-1) 「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等

(2-2) 「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の状況（実績）及び効果等

(2-3) 「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の状況（実績）及び効果等

(2-4) 「Ⅳ 区独自取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等

(3) その他の効果のあった内容

評価	左記の理由
B	<ul style="list-style-type: none"> 地域が自立的に運営されていると感じる割合 69.7% 課題やニーズに応じて中間支援組織から支援を受けていると感じている割合 36.2%

5 総合評価【全体】

評価	左記の理由
B	<ul style="list-style-type: none"> 地活協として、これまで関わりの薄かった方達との連携や協働は大きな目標でありメリットを生み出すものである。こういった取り組みに前向きな方との連携を、まちづくりに関する知識や、地域での合意形成に必要なファシリテーションスキルを持ち合わせた嘱託職員として、いっそう上げていただきたい。

	<ul style="list-style-type: none">令和2年1月～3月に予定されていた SNS を用いた広報講座や、地域カルテ活用支援としての研修会などが新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となった。令和2年度はコロナ禍の現状を踏まえた地域支援をお願いしたい。
--	--

(評価基準)

- S：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を大幅に上回っている。
- A：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を上回っている。
- B：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準に概ね達している。
- C：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を下回っている。